

自転車のための「オク地図」



④完成した「オクシズ・サイクリングマップ」 ⑤完成したマップを手渡す学生ら＝静岡市役所静岡庁舎



常葉大の学生と中日本高速道路がこのほど、静岡市中山間地域「オクシズ」のさまざまな魅力を紹介するサイクリングマップを共同で制作した。2千部を印刷し、9日に同市葵区で開催されるイベント「しずおかサイクルフェス2023」で来場者に配布する。

静岡市中山間地域 名所に走行距離や標高差

常葉大生と中日本高速道路 共同制作

市が呼びかけている自転車の利用促進やオクシズの活性化に協力しようと、同大の山田雅敏教授(50)のゼミ生やサイクリング同好会の学生ら約50人が参加し5月から取り組んだ。マップには「自転車の駅」を設置する新東名高速道静岡サービスエリア(SA)を起点に、奥糺科地区の水見色や大川、清沢への走行距離や標高差、名所を写真入りで紹介。11月下旬には自転車での試走会を実施して出来栄を確認した。

静岡市役所静岡庁舎でこのほど行われた完成報告会では、同大3年の杉山大介さん(21)、岡田喜也さん(20)、西貝瑞稀さん(20)、中日本高速道路の藤田裕行さん(55)が市の担当者にマップを手渡した。意見交換会では学生たちが「色使いなどを工夫し、一目見て経路が分かるようなシンプルなものを作りたい」と話した。

(写真部・坂本豊)